



東の窓

令和6年(2024年) 8月29日 第5号

2学期が始まりました。 新たな気持ちで、一步前進！

長かった夏休みが終わり、2学期が始まりました。子どもたちの元気な声が学校に広がり、しばらくぶりに見る姿は、一回り大きくたくましくなったように感じました。子どもたち一人ひとりが充実した夏休みを過ごしたからではないかと思えます。

2学期は一番長い学期であると同時に、行事も多く、学習内容も豊富です。加えて季節も酷暑の時期から厳寒の時期へと大きく移り変わります。まずは、心身ともに元気で様々なことにチャレンジし、すべての子どもが一步前へと進み、成長してくれることを願っています。

そして、子どもたちが努力して取り組んだことが実を結び、子どもたちの力を伸ばすことができ、「できることが増えた」2学期にしていきたいと思えます。

今学期も何かとお世話になると思いますが、保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いします。



子ども・地域ボランティア活動の紹介Ⅱ

前号でもお知らせしましたが、今年度より「子ども・地域の方・学校をつないで”えちひが”を盛り上げよう！」をテーマに掲げ、「子どもと地域の方が共にボランティア活動を行い、温かなつながりを築き、子どもたちのボランティア精神を養うこと」を目的として、子ども・地域ボランティア活動を推進しています。

これまでに「リユース販売会」「学校花壇づくり」「ボランティアルームのかざりづくり」に取り組み、このボランティア活動に賛同し、参加する子どもたちが増えてきています。

1学期後半には、各家庭で不要になった絵本を集めて修繕し、愛知川幼稚園等に寄贈する活動や、愛荘町の社会を明るくする運動と連携して、子どもボランティアが各種団体の役員等地域の方とともに「あいさつ運動」に取り組んできました。いずれの活動も、子どもたちの主体性や意欲等が随所に見られ、関係者・地域の方はその姿に喜びと頼もしさを感じておられました。

今後も「自己の成長につなげ、仲間や学校、地域社会のためにもてる力を発揮する態度」や「学校や地域に愛着をもち、人とまちが共に輝くまちづくりにつながる思いの芽生え」を培うことをめざして、子ども・地域ボランティア活動を推進していきたいと思えます。



ボランティアルームで絵本を修繕する



絵本を愛知川幼稚園に贈る



社会を明るくする運動とコラボしたあいさつ運動